

## 目標 1 3

## NPO・企業・地域団体等との連携・協働

## (1) 施策の方向性

キャリア教育を中心として、地域や企業と学校が連携して、リアルな体験活動の充実に取り組む。

また、地域の文化活動やスポーツ活動において、地域団体等との連携・協働により、文化活動やスポーツ活動を推進するとともに、部活動の地域移行において、地域や民間企業からの協力を得て、より専門性の高い指導や、選択の幅のある活動環境を目指していく。

いじめなどへの対応について、警察や関係機関との連携強化を検討する。

## (2) 主な取組み

## ① 企業との連携による学びの推進

従来からのキャリア教育に加え、企業側からの主体的なアプローチにより、地元の人材を地元で育成するといった、学びを推進する。

## ② 地域文化活動の振興

文化関係団体と連携しながら、市民一人一人が日常的に文化芸術に親しめる環境づくりや主体的に実施する文化活動を推進するとともに、地域の歴史や伝統文化が次世代へ継承される取組みを支援する。

- ・芸術家等を学校に派遣するアウトリーチ<sup>※1</sup>事業
- ・市役所1階ロビーを活用したコンサート
- ・「風がみつけた街」たきかわ音楽祭及び滝川市民文化祭への支援
- ・地域資料の保存・研究・発信

## ③ スポーツ活動の推進

市民一人一人が日常的にスポーツに親しめる環境づくりを進めるため、一般財団法人滝川市スポーツ協会と連携しながら、スポーツを通じた地域交流・多世代交流を推進する。

- ・たきかわコスモスマラソンなどのスポーツ・レクリエーション活動の充実
- ・アダプテッドスポーツ<sup>※2</sup>出前授業の実施

## ④ 部活動の地域移行【一部再掲】

学校教育活動から社会教育活動への転換を図り、国や市だけではなく、地域や民間企業からの協力を得て、より高度な専門性を持つ指導者による指導を行うとともに、様々な選択肢を用意することにより、スポーツ、文化芸術分野の裾野を広げる。

- ・部活動の地域移行の推進

## ⑤ 情報拠点としての図書館の充実

地域の情報拠点として「役に立つ魅力ある図書館」を目指し、行政や外部機関等と連携し、様々な情報を収集・提供することで、さらなる読書普及活動を推進する。

## ⑥ いじめ対応における警察や関係機関との連携強化

犯罪行為として取り扱われるべき重大ないじめについては、早期に警察や関係機関と相談し、緊密に連携した対応を行う。

## (3) 推進指標

| 指 標   | 現状値 | 目標値   |
|---|-----|-------|
| 文化芸術の鑑賞をする者の割合<br>(「文化に関する世論調査」)                  | —   | 67.3% |
| 成人における週1日以上での運動・スポーツ実施率<br>(「スポーツの実施状況等に関する世論調査」) | —   | 56.4% |

※1 アウトリーチ：積極的に対象者のいる場所に向かい働きかけること

※2 アダプテッドスポーツ：身体的な障がいがあっても、ルールや道具を調整すれば、多くの人がスポーツを楽しむことができるという理念で行われるスポーツ

## 目標 1 4

## 安全・安心で質の高い教育環境の整備

## (1) 施策の方向性

教育内容・方法等の変化や多様化への対応などの教育環境の質的向上を図ることを含め、学校施設の計画的な老朽化対策や学習教材の充実を進める。また、学社連携事業をはじめ、地域の活力の向上など社会の要請に応じて学習機会を提供していくことができる社会教育施設の整備の検討を進める。

## (2) 主な取組み

## ①安全・安心で質の高い学校施設等の整備の推進

「滝川市公共施設個別施設計画」と連動し、学校施設整備を推進する。学校施設整備の際には、バリアフリー化に加え、コミュニティ・スクール事業や部活動の地域移行の質的向上を目指し、学校施設の複合化について、十分な検討を行うとともに、学校図書館をはじめとして、新たな教育需要に対応する教材等の充実を図る。

・学校施設整備事業の推進

## ②持続可能な社会教育施設の整備・運営の検討

市民の文化芸術活動の発表の場となるホール機能を有した施設の整備を早急に進める。施設整備の際には、文化ゾーンに位置するその他の社会教育施設の機能を維持・存続を図り、多様な市民活動の拠点施設となるよう検討する。

・社会教育施設整備事業の推進

## (3) 推進指標

| 指 標   | 現状値      | 目標値                  |
|---|----------|----------------------|
| 小・中学校1校当たりの教材費決算額<br>(教材費決算額調べ 令和3年度決算額)      | 3,501 千円 | 全道平均以上<br>(1,810 千円) |
| 学校施設の老朽化対策の推進「劣化状況評価 D」の棟数<br>(滝川市学校施設長寿命化計画) | 35 棟     | 減少                   |

## 第 2 次滝川市子どもの読書活動推進計画（2019-2023）

## 対象別成果検証報告書

滝川市子どもの読書活動推進計画では、それぞれの年齢や発達段階に合わせた読書活動に取り組むべく、対象別のアクションプランを定めています。第2次計画における、それぞれの対象への成果及び課題は、以下のとおりです。

## ＜0歳前＞

## （1）成果

- ①チラシ「小さな本棚 マタニティ編」の作成・配布を開始し、妊娠や出産に関するおすすめの本を紹介することで、本を活用した子育てや、図書館に足を運ぶきっかけづくりを行うことができました。
- ②母子手帳に添付する図書館の利用案内をリニューアルし、0歳前から読み聞かせを行うことの大切さについて記載することで、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できない状況が続いたアクションプラン『「妊婦対象講座」での講話』で、本来妊婦さんたちに伝えなかったことを一部お伝えすることができました。

## （2）課題

第1次計画にて課題となっていたマタニティクラスの参加者増加への取り組み強化について、コロナ禍により、2020年度以降、「マタニティクラス」や、「もうすぐママサロン」などの妊婦対象講座での講話を実施することができず、拡充に至りませんでした。子どもが生まれる前からお母さんが読み聞かせをする習慣づくりをすることは、その後の家庭での子どもの読書に大きく影響するため、引き続き生まれる前の子どもの保護者を対象にした読書の大切さの啓発をする必要があります。

## ＜乳幼児＞

## （1）成果

- ①図書館が市内の施設等に本をプレゼントする「どこでもドクショ。」事業を開始したことにより、保育所等や子どもと大人が集まる施設で子どもたちが本に触れられる環境の充実を図りました。特に保育所では、各所で多数の絵本を購入することは難しいため、図書館から比較的新しい本や状態の良い名作絵本などを受け入れたことにより、蔵書

のリニューアルを行うことができました。

- ②コロナ禍により、絵本作家講演会やワークショップなどを実施することができませんでしたが、絵本作家原画展に切り替えたことで、子どもたちが生のアートに触れられる機会を提供することができました。図書館と絵本作家、出版社が、コロナ禍でもできることを共に模索したことで、新たな繋がりを持つことができ、今後の読書普及事業を充実させるための関係づくりを行うことができました。また、参加者が減少傾向にあった「絵本のおはなし会『たまたまばこ』」等の実施方法の見直しも数回にわたって行い、令和5年度には参加者が増加しました。

## (2) 課題

コロナ禍により、多くの読書普及事業が中止又は実施方法の変更を迫られ、従来以上に行うことができませんでした。特に、出張おはなし会などの図書館と他の施設等が連携して実施する事業では、継続して行っていたものが途切れてしまったことで、改めて連携事業のPRを行い、施設等による図書館利用の促進を図る必要があります。

## <小学生>

### (1) 成果

- ①図書館訪問や調べ学習用図書の借受など、授業で積極的に図書館を利用する学校・学級がありました。福祉や生き物、環境（SDGs）に関する本の需要が高く、教科書の補助教材として本を活用することで、さらに知識を深め、子どもたちの興味・関心を高められたのではないかと考えます。
- ②図書室の運営や環境整備について、図書館への相談が一定数あり、学校と図書館が連携して、子どもたちが利用しやすい図書室づくりを行うことができ、第1次計画で課題となった蔵書のデータベース化も推進することができました。また、図書館学級文庫で人気のある本を蔵書としたり、図書室に本のリクエストボックスを設置する、子どもたちから直接聞き取るなど、子どもたちの要望を蔵書に反映させる工夫が行われている学校もあります。
- ③「滝川市立図書館を使った調べる学習コンクール」では、夏休みの自由研究で調べた作品だけでなく、冬休みの自由研究も保管して提出する学校もあり、また、コンクールを意識したレベルの高い作品も年々増えていることから、調べてまとめる能力の向上に繋がっています。

### (2) 課題

- ①読書アルバム（通帳）の100冊以上達成者数が年々減少しています。1冊の本をじっ

くりと読みこむことも大切な読書体験ですが、様々な本を読むことで、子どもたちの知識が広がり、読解力が向上するとともに、想像力が育まれるため、図書館と学校が協力して読書通帳（アルバム）活用のPRを行うなど、子どもたちの読書量が増えるような取り組みを実施する必要があります。

- ②令和3年度に小学3年生と小学6年生を対象に実施した「滝川市内に通学する子どもの読書状況調査」では、「読みたい本がない」「本を読むのが好きではない」という理由で読書をしない子どもの割合が高いことがわかりました。調査では、普段読んでいる本のジャンルとして、共通してマンガや絵本・物語・小説、3年生ではその他にクイズやゲーム、6年生では伝記・歴史などが多く読まれていることもわかったため、学習漫画の活用や、子どもたちが読みたいと思う本の選書の精度を高めるとともに、おすすめの本の効果的なPRを行い、引き続き読書普及事業に力を入れていきます。

## <中学生>

### (1) 成果

- ①第1次計画で課題となったヤングアダルトコーナーの充実について、書架を増設したほか、中空知図書館ネットワーク推進事業による「なかぞらネットおすすめの本～中学生向～」のパンフレット配布や、子どもたちの投票によるライトノベルやマンガの蔵書化を行いました。投票で選ばれた本は利用が多く、一部分野で子どもたちの声を取り入れた蔵書づくりが有効であることがわかりました。
- ②壁新聞の取材や職業調べで、毎年中学生が図書館に来館しています。調べた学生や、成果物を目にした学生が図書館やその仕事について知り、興味を持つことで、図書館を身近に感じてもらい、読書意欲に繋がっていると考えられます。また、学校では、図書館学級文庫の本が朝読書に役立っているほか、POP作成講座なども活用されています。

### (2) 課題

- ①授業での図書館の蔵書の利用が少ない傾向にあります。教職員がより図書館を活用しやすいよう、調べ学習向け図書の紹介や展示など、より具体的なイメージを持ってもらえるような工夫を行う必要があります。
- ②令和3年度に実施した「滝川市内に通学する子どもの読書状況調査」では、本を読まない子どもの割合が他の世代より少なかったものの、電子メディアの使用を理由に本を読まない子どもの割合が多く、インターネットを利用した読書推進事業について検討します。

## <高校生>

### (1) 成果

- ①高文連空知支部の図書館研究大会では、図書館から講師を派遣し、図書委員（部員・局員）を対象にテーマ展示の設置について講義を行いました。授業だけでなく、委員会や部活動等でも図書館を利用できることを教職員に知ってもらうための一例となり、今後の高校との連携に役立てられると考えます。
- ②滝川工業高校の開校 100 周年を記念し、関連する資料や学生の制作物を展示するとともに、学生による来館者向けの活動説明会も開催しました。記念事業のひとつとして図書館を活用したことで、市民に高校生の作品や授業の成果を知ってもらうことができ、普段図書館をあまり利用していない学生たちやその関係者も、家族や友人、後輩たちの作品を見るために足を運び、それを機に本を手取るきっかけになりました。

### (2) 課題

- ①高校生と本を結び付ける図書館の直接的な取組を十分に実施することができませんでした。学校で過ごす時間が長い高校生向けのサービスでは、高校と図書館の連携が必要不可欠です。学級や科目、部活、委員会など、シーンに応じた図書館や本の活用方法を知ってもらい、実際に利用してもらえよう工夫が必要です。
- ②令和3年度に実施した「滝川市内に通学する子どもの読書状況調査」では、高校生の4人に1人が本を全く読んでいないことがわかりました。また、読書が好きと回答した子どもでも、1日の読書時間が1時間未満の割合が多く、その理由として勉強や部活を選択した子どもが多いことから、朝読書など学校での読書時間の確保や、短時間で読める作品を紹介することで読書率が上がる可能性があります。併せて、電子メディアの使用を理由に読書時間が無いと回答する子どもと、反対に読書時間が増えたと回答する子どもが多いことから、電子メディアを有効活用した読書推進事業が求められます。

## <特別な支援を必要とする子ども>

### (1) 成果

- ①コロナ禍においても、図書館の出張おはなし会やまごころ本箱「はこぶっく」などの利用を望む声が多く、継続して事業を実施することができました。特にまごころ本箱「はこぶっく」では、登録団体が増え、障がいをもった子どもや通学が困難な子どもなどの読書環境を充実させることができました。
- ②「発達段階に応じた読書活動の推進事業」の助成金を使用し、「障がいを知り、共に生きる」、「生きづらさを抱えるあなたへ」の2種類のチラシを作成・配布しました。大活

字本や点字つきのさわる絵本、手話の本のほか、拡大鏡やリーディングトラッカーなどの読書補助具について紹介し、読書バリアフリーの推進に向けた取り組みを行うことができました。

## (2) 課題

点字併記図書や大活字本など、障がいを持つ子ども向けの本の出版数が少なく、図書館の資料として十分に収集することができませんでした。新しく出版された本だけでなく、必要に応じて過去の出版物の情報も収集し、積極的に資料収集を行う必要があります。読書バリアフリーへの関心が高まっている今、滝川市の状況に合わせた取り組みについて、連携して取り組むことが必要です。

## <子どもをとりまく大人>

### (1) 成果

- ①第1次計画で課題となっていた読書活動を支える人材の育成を行ったほか、図書館の読み聞かせボランティアの活動の見直しを行い、おはなし会への出演や、「絵本のおはなし会『あかちゃんといっしょ』」に参加した子どもたちにプレゼントする手作りおもちゃの作成、あかちゃんと保護者向けの展示テーマ考案が活動内容に加わりました。児童サービスの向上とともに、ボランティア自身の活動意欲を高めることもできたと考えます。
- ②コロナ禍により、なかそらち図書館ネットワーク推進事業で行ってきた読み聞かせ講座は継続することができませんでしたが、独自に読み聞かせボランティア研修会を開催し、人材育成を行いました。イベントが思うように行えず、実演するにも限られた場ではありますが、小規模でも活動を続けることで、アフターコロナの様々な児童サービスに活かすことができます。

### (2) 課題

コロナ禍により行動の自粛が求められたことから、これまで継続して実施してきた地域のおはなし会や、学校図書館支援ボランティアへの図書館職員を派遣した講座・支援など、地域と図書館が連携した読書普及事業を十分に行うことができませんでした。継続性が失われたことで、地域の子どもの読書に関する活動が下火にならないよう、図書館が積極的に支援をしていく必要があります。

## 滝川市内に通学する子どもの読書状況調査 調査報告書（概要）

## 滝川市内に通学する子どもの読書状況調査の概要

### 1. 調査の目的

この調査は、「滝川市子どもの読書活動推進計画」策定後の第1回目の調査として、市内に通学する子どもの読書状況の実態を調査し、その傾向を把握することで、今後の読書推進サービスや第3次計画の策定に活用するとともに、次回の調査と比較することを目的として実施しました。

併せて、スマートフォンの普及やそれを活用した SNS などのコミュニケーションツールなど情報環境の大きな変化が子ども読書環境に影響を与えている可能性を踏まえ、滝川市における電子メディアと子どもの読書環境の関わりについて調査を実施しました。

### 2. 実施主体

滝川市教育部社会教育課図書館事業推進係

### 3. 調査実施方法

#### (1) 調査名称

「滝川市内に通学する子どもの読書状況調査」

#### (2) 実施期間

令和3年6月から7月まで

#### (3) 調査方法

対象となる学校の協力のもと、アンケート用紙を配布して調査を行いました。

#### (4) 対象

市内小学校6校 3年生・6年生

（滝川第一小学校、滝川第二小学校、滝川第三小学校、西小学校、江部乙小学校、東小学校）

市内中学校4校 2年生

（江陵中学校、明苑中学校、開西中学校、江部乙中学校）

市内高等学校3校 2年生

（滝川西高等学校、滝川高等学校、滝川工業高等学校）

#### (5) サンプル数

小学3年生 254 サンプル

小学6年生 291 サンプル

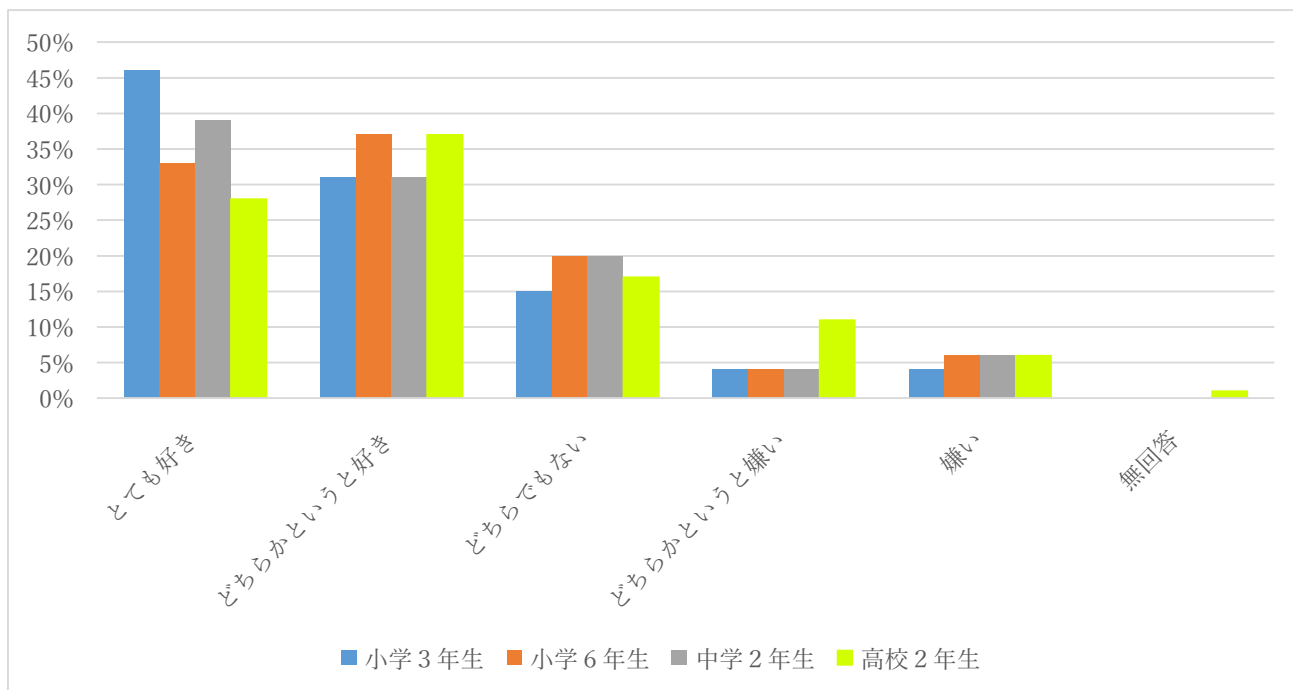
中学2年生 273 サンプル

高校2年生 460 サンプル



## 調査結果

## 1. 読書を好きな子どもと嫌いな子どもの割合

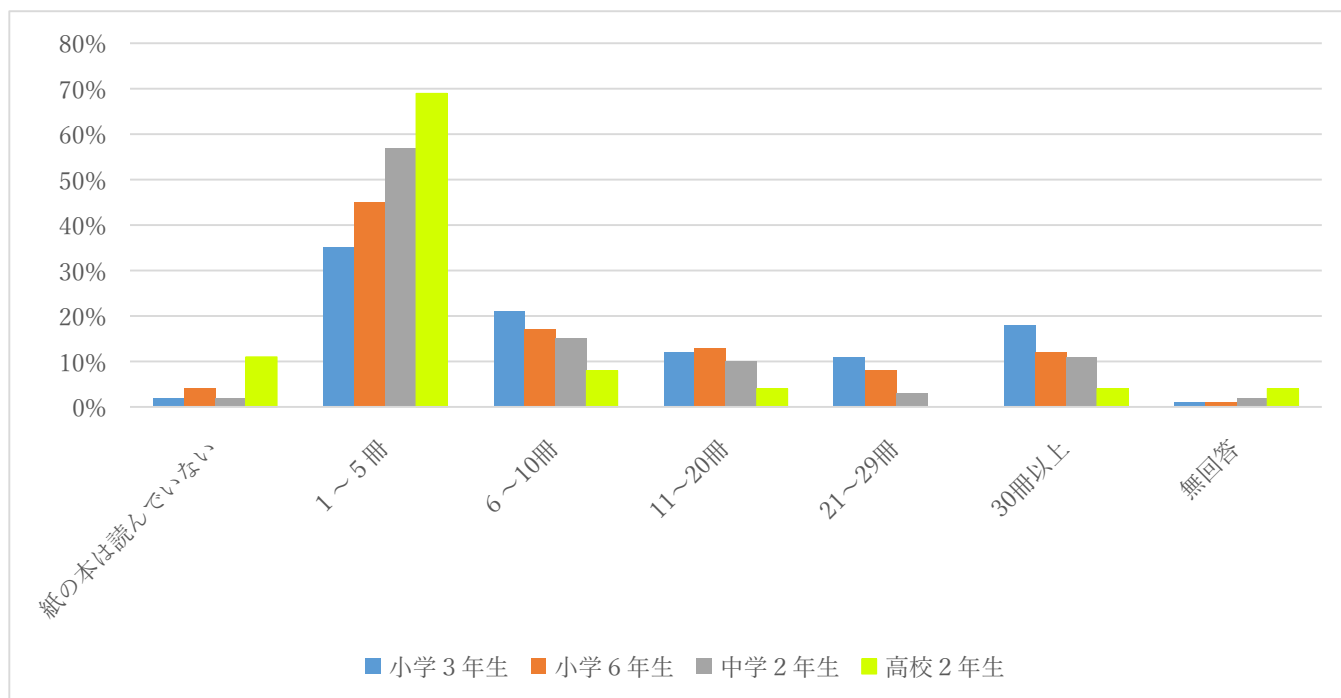


| 学校 (回答人数) | 小学3年生<br>(254人) | 小学6年生<br>(291人) | 中学2年生<br>(273人) | 高校2年生<br>(460人) |
|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| とても好き     | 46%             | 33%             | 39%             | 28%             |
| どちらかという好き | 31%             | 37%             | 31%             | 37%             |
| どちらでもない   | 15%             | 20%             | 20%             | 17%             |
| どちらかという嫌い | 4%              | 4%              | 4%              | 11%             |
| 嫌い        | 4%              | 6%              | 6%              | 6%              |
| 無回答       | 0%              | 0%              | 0%              | 1%              |

- 読書が「とても好き」又は「どちらかという好き」な子どもの割合は、どの世代も共通して高く、特に「とても好き」な子どもの割合は小学生が最も高くなっています。
- 読書が「どちらかという嫌い」又は「嫌い」な子どもの割合は、学年が上がるにつれて高くなっています。特に高校2年生では、「どちらかという嫌い」と「嫌い」を合わせた人数の割合が全体の17%で、小学3年生の1.47倍、小学6年生・中学2年生の1.59倍となっていることから、勉強や部活等による時間的な制約や電子メディアの使用が要因ではない読書離れが懸念されます。

## 2. 過去1か月に何冊くらい本を読んだか

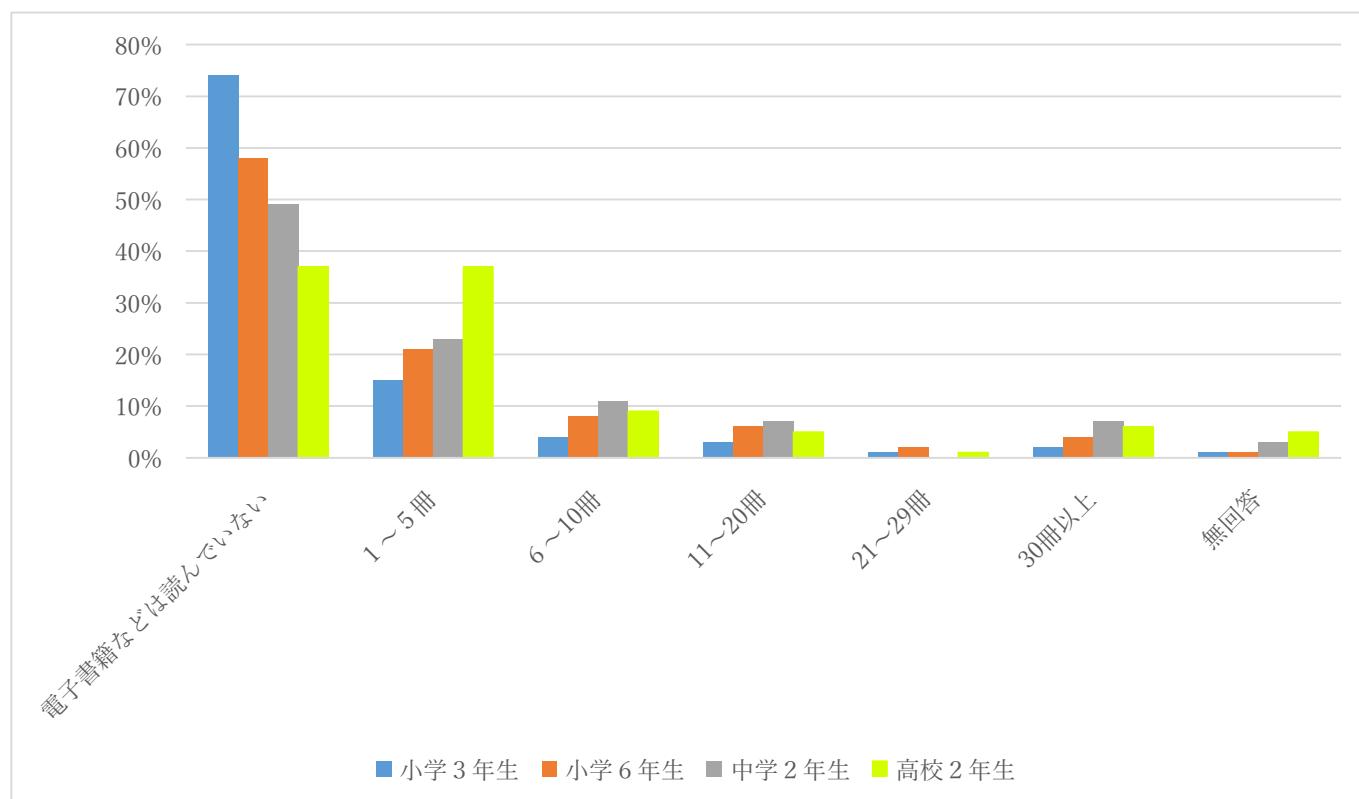
(紙の本)



| 学校 (回答人数)  | 小学3年生<br>(219人) | 小学6年生<br>(216人) | 中学2年生<br>(241人) | 高校2年生<br>(335人) |
|------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 紙の本は読んでいない | 2%              | 4%              | 2%              | 11%             |
| 1~5冊       | 35%             | 45%             | 57%             | 69%             |
| 6~10冊      | 21%             | 17%             | 15%             | 8%              |
| 11~20冊     | 12%             | 13%             | 10%             | 4%              |
| 21~29冊     | 11%             | 8%              | 3%              | 0%              |
| 30冊以上      | 18%             | 12%             | 11%             | 4%              |
| 無回答        | 1%              | 1%              | 2%              | 4%              |

- 紙の本を読んだ子どもの割合は、学年が低いほど高くなっています。紙の本を読んでいない子どもの割合は全体的に低くなっていますが、高校2年生では10%の子どもが紙の本を読んでいないという結果になっており、他の世代より若干高くなっています。
- 紙の本で1か月に30冊以上読んだ子どもの割合は、小学3年生が18%で最も高くなっており、およそ5人に1人の割合で1日に1冊以上紙の本を読んでいることがわかりました。

## (電子書籍など)



| 選択肢           | 学校 (回答人数) | 小学3年生 (219人) | 小学6年生 (216人) | 中学2年生 (241人) | 高校2年生 (335人) |
|---------------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 電子書籍などは読んでいない |           | 74%          | 58%          | 49%          | 37%          |
| 1~5冊          |           | 15%          | 21%          | 23%          | 37%          |
| 6~10冊         |           | 4%           | 8%           | 11%          | 9%           |
| 11~20冊        |           | 3%           | 6%           | 7%           | 5%           |
| 21~29冊        |           | 1%           | 2%           | 0%           | 1%           |
| 30冊以上         |           | 2%           | 4%           | 7%           | 6%           |
| 無回答           |           | 1%           | 1%           | 3%           | 5%           |

■過去1か月に電子書籍やインターネットで本を読んだ子どもの割合は、高校2年生が最も多くなっています。これは、自分自身のスマートフォンなどを持つようになったことや、マンガや小説が無料で読めるホームページなどの普及が理由として考えられます。

■読んだ本の冊数については、学習や部活動などによる時間の制約等に加え、読む本の文章量や難易度の上昇もあり、学年が上がるにつれて減少することを想定しており、冊数については概ね予想通りの傾向となりました。ただし、読書時間では2時間以上読んでいる子どもの割合が最も高い世代が中学2年生であることから、必ずしも年齢の上昇により読書量全体が下がるわけではないことがわかります。

■高校2年生では、読んだ冊数が多くなるにつれて紙の本よりも電子書籍を読む子どもの割合が高くなっており、電子書籍が読書量の増加に役立っていることがわかりました。

## 「読書活動に関するアンケート」 集計結果

## 「読書活動に関するアンケート」の概要

## 1. 調査の目的

滝川市では、5か年ごとに子どもの読書活動に関する重点目標を定め、「滝川市子どもの読書活動推進計画」を策定しています。第2次計画の計画期間が2023年度で終了するにあたり、次の5か年（2024年度～2028年度）を計画期間とする第3次計画をさらに充実したものとするため、滝川市内の保育所・幼稚園、学校、子育て関連施設など、子どもの読書活動に関わる機関にアンケート調査を実施し、計画に反映させるため、本調査を実施しました。

## 2. 実施主体

滝川市教育部社会教育課図書館事業推進係

## 3. 調査実施方法

## (1) 調査名称

「読書活動に関するアンケート」

## (2) 実施期間

令和5年4月から5月

## (3) 調査方法

対象となる機関にアンケート用紙を配布し、調査を行いました。

## (4) 対象

幼稚園・保育所、市内小学校、市内中学校、市内高等学校、児童センター・児童館、児童通学支援・放課後等デイサービス「いっぽ」、滝川通園事業所「たんぼぼの家」、滝川市地域子育て支援センター、滝川市こども発達支援センター、滝川市適応指導教室ふれあいルーム、滝川市保健福祉部健康づくり課、滝川市保健福祉部子育て応援課

(計 33 カ所)

## アンケート結果

### 1. 小学校

#### (1) 実施を希望する図書館サービス

| サービスの内容           | 希望する学校<br>(6校中) |
|-------------------|-----------------|
| 学校図書館運営支援         | 5               |
| 調べ学習支援            | 4               |
| 図書館での調べ学習         | 3               |
| 図書館訪問             | 3               |
| 各種講座              | 3               |
| 学習・部活動での成果発表の場の提供 | 3               |
| 読書支援              | 4               |

#### (2) 図書館サービスに関する要望・ご意見（抜粋）

※類似の要望・ご意見はまとめて掲載しています。

- ・学級文庫、読書アルバムの2つのサービスはとても効果の高いサービスであり、助かっています。今後もぜひ続けていきたいです。
- ・学校図書館運営支援は特に希望します。司書のいない学校又は新任の先生が司書をしている学校には特に効果の高いサービスだと考えます。
- ・読書アルバムに取り組む児童が、年々校内で増えています。賞状が励みになっているようなので、これからも未永く続けて欲しいです。
- ・コロナ禍から少しずつ元の形に戻ってきているので、これから図書館をたくさん活用したいです。
- ・学級文庫で貸出してもらった本の中で人気のある本は、学校の図書室にも積極的に入れるようにしています。
- ・図書館学級文庫について、児童数が少ないので1人2冊だと学級で借りられる本の冊数が少なくなってしまう、あっという間に読み終わってしまいます。1人あたりの冊数を3冊や4冊くらいにしてもらえたら、もっと読書を楽しめると思います。

## (3) 学校での読書に関する取組の実施状況

| 学校での取り組み                 | 実施している学校<br>(6校中) |
|--------------------------|-------------------|
| 蔵書データベース化の検討             | 4                 |
| 図書室の整備 ※市立図書館を利用した整備も含む。 | 5                 |
| 蔵書の充実                    | 5                 |
| 図書委員会の活動の充実              | 6                 |
| 図書館だよりの発行                | 4                 |
| 朝読書や休み時間などを使った読書タイムの実践   | 5                 |
| 読み聞かせの実施                 | 5                 |

## (4) 特に悩んでいることや、図書館に支援して欲しいと思うこと、実施に向けての障壁となっていること

- 読書アルバム 100 冊以上の児童がもっと増えて欲しいです。
- 蔵書のデータベース化の支援をしてほしいです。本校はこれまで手書きのアナログで管理してきたようですが、教員が図書館を運営しているため、負担軽減のためにもデータベース化や蔵書のバーコードでの管理などについて支援いただきたいです。
- 蔵書数が足りません。蔵書数を増やして、児童・生徒に様々な本に触れてもらいたいです。
- 本が好きな児童におすすめの本を尋ねたり、本のリクエスト BOX を設置することで、魅力ある学校図書館になるよう試行錯誤しているので、図書館に色々と相談したいです。

## 2. 中学校

### (1) 実施を希望する図書館サービス

| サービスの内容           | 希望する学校<br>(3校中) |
|-------------------|-----------------|
| 学校図書館運営支援         | 2               |
| 調べ学習支援            | 1               |
| 図書館での調べ学習         | 1               |
| 図書館訪問             | 1               |
| 各種講座              | 3               |
| 学習・部活動での成果発表の場の提供 | 1               |
| 読書支援              | 1               |

### (2) 図書館サービスに関する要望・ご意見（抜粋）

※類似の要望・ご意見はまとめて掲載しています。

- 学級文庫について、朝読書の時間に読む子が多く、大変助かっているのので、今後も利用したいです。
- POP 作成講座に興味を持ってくれる生徒がいそうなので、ぜひ取り入れてみたいです。
- 学校教育の年間行事などに合わせた本などを一定期間、移動図書室のようにコーナーを作るなどしたらよいと思います。
- GIGA スクール構想が声高に叫ばれている今だからこそ、調べ学習など、アナログの力を大いに活用した、主体的な探求能力を身につけさせる機会を増やしたいです。
- コロナ禍により、学級文庫の選書を生徒ではなく図書館の方で行っていただきました。やはり、発達段階に則したセレクトが生徒の関心につながっていました。
- 読書アルバムを中学校も独自にやってみたいです。

## (3) 学校での読書に関する取組の実施状況

| 学校での取り組み                 | 実施している学校<br>(3校中) |
|--------------------------|-------------------|
| 蔵書データベース化の検討             | 1                 |
| 図書室の整備 ※市立図書館を利用した整備も含む。 | 2                 |
| 蔵書の充実                    | 3                 |
| 図書委員会の活動の充実              | 3                 |
| 図書館だよりの発行                | 2                 |
| 朝読書や休み時間などを使った読書タイムの実践   | 3                 |
| 読み聞かせの実施                 | 0                 |

## (4) 特に悩んでいることや、図書館に支援して欲しいと思うこと、実施に向けての障壁となっていること

- 蔵書のデータベース化や貸出の電子化は考えていますが、予算も人手もありません。
- 数年前に、単発で市立図書館の司書の方に足を運んでいただき、蔵書整理をしたと伺っています。ぜひ、今度ともお力添え願いたいです。
- 時期を見て、ブックトークなどを司書さんをお願いしたいと思っています。



### 3. 高校

#### (1) 実施を希望する図書館サービス

| サービスの内容           | 希望する学校<br>(3校中) |
|-------------------|-----------------|
| まごころ本箱「はこぶっく」     | 0               |
| 学校図書館運営支援         | 2               |
| 調べ学習支援            | 1               |
| 図書館での調べもの         | 2               |
| 図書館訪問・職業体験        | 1               |
| 各種講座              | 2               |
| 学習・部活動での成果発表の場の提供 | 1               |
| 読書支援              | 1               |
| 就職活動支援            | 1               |
| 連携イベントの開催         | 1               |

#### (2) 図書館サービスに関する要望・ご意見（抜粋）

※類似の要望・ご意見はまとめて掲載しています。

- ・高校図書的全道大会で、分科会を複数設ける必要があり、協力していただきたいと思っています。

#### (3) 今後、図書館に実施してほしいサービス

- ・滝川市に関する資料があると、本校の授業として行っている探究活動で大いに役立てることが出来ると思います。（現在はインターネットで検索）

#### (4) 図書館への意見・要望や、子どもたちの読書状況について

- ・今度も多くの企画やお互いの連携が実施していけたらと考えています。
- ・本校は就職希望の生徒が非常に少ないため、（図書館が配布している）就職活動支援のチラシは数枚で十分だと思います。
- ・本校では、2年生の9月までは朝の10分間を利用し、毎日「読書の時間」を設けています。その効果を実証するのは難しいですが、本に接する機会を設けることはできていると思います。

## 4. 学校以外の子育て関連施設など

## (1) 実施を希望する図書館サービス

| サービスの内容         | 乳幼児<br>(8か所中) | 小学生<br>(7か所中) | 多様な支援を<br>必要とする子ども<br>(4か所中) | その他<br>(2か所中) |
|-----------------|---------------|---------------|------------------------------|---------------|
| まごころ本箱「はこぶっく」   | 5             | 6             | 3                            | 1             |
| 出張おはなし会         | 4             | 7             | 2                            | 0             |
| 図書館訪問           | 2             | 5             | 2                            | 0             |
| 各種講座            | 1             | 2             | 2                            | 1             |
| 子どもたちの作品の展示場所提供 | 3             | 3             | 1                            | 0             |
| どこでもドクショ。       | 3             | 4             | 2                            | 2             |
| 読み聞かせ機材の貸出      | 7             | 4             | 2                            | 1             |

## (2) 図書館サービスに関する要望・ご意見（抜粋）

※類似の要望・ご意見はまとめて掲載しています。

## ＜乳幼児＞

- 毎月の貸出文庫がとても助かっています。図書館の本を子どもたちが楽しみにしていて、園内にない絵本や紙芝居が多いので職員も助かっています。自分では手に取らない本もあるので、広がりがあります。
- 日々の保育の中で、「はこぶっく」を大いに活用させていただいています。
- 「どこでもドクショ。」は、本の傷みの進みが早い保育所ではとてもありがたいサービスです。
- 子育て講座でいつもお世話になっています。これからも、講座で絵本についての情報をお知らせください。

## ＜小学生＞

- 毎月貸出文庫を利用させていただいており、子どもたちは本に興味を持ち、読む姿が多くみられます。
- 高学年は生物や科学などの興味のある本を読み、低学年は占い、ミッケ、8月頃になると怖いおはなしを読んでいます。できれば、絵本よりも「読む本」を多く入れて欲しいと考えています。

## ＜多様な支援を必要とする子ども＞

- まごころ本箱「はこぶっく」事業が大変ありがたく、助かっています。今後もお願いしたいです。
- 毎月の本の貸し出し、大変助かっています。

- POP つくりやしおり作りなどの体験が子どもたちの良い経験になるので、今後もお願いしたいです。

<その他>

- 最近どんな本が人気なのか知りたいです。
- ホームページが見やすくて良いです。

(3) 今後、図書館に実施してほしいサービス

<乳幼児>

- 出張おはなし会や図書館訪問を利用できたらと思っています。
- 社会科見学のような図書館見学ができるといいなと思います。

<多様な支援を必要とする子ども>

- 図書館ボランティア体験、司書体験など、図書館の仕事を知る機会があると良いです。
- 新たに「図書館訪問」の企画をお願いしたいです。

(4) 図書館への意見・要望や、子どもたちの読書状況について

<乳幼児>

- 読み聞かせ機材の貸出期間が、10日～2週間くらいになると助かります。(現在は1週間)
- 保育所の文庫からも毎日貸し出しを行っており、たくさんの子どもたちが本を借りています。
- 子どもたちはお気に入りの本を何度も借りているようです。
- 保護者の方やご近所の方から保育所に本を寄贈してもらうことがありますが、中には難しい内容のものもあるので、図書館で活用してほしいです。
- 幼稚園では、毎日絵本の読み聞かせを行っており、子どもたちにとって絵本は身近なものになっていると思います。地域の図書館も利用し、より本との触れ合いができれば良いなと思います。
- 図書館が様々なサービスを行っていることを、今回のアンケートで知ることができました。

## ＜小学生＞

- 地理的に図書館を訪問するのは難しいので、季節の工作やぬり絵などを教えていただいたり、展示していただいたりすると、子どもたちの制作意欲につながるのではと思っています。
- 貸出文庫の本は、自由遊びの時間に手に取ったり、学習時間中に利用しています。
- 怖いお話が好きな子が多く、何人かで一緒に見て楽しんでいます。
- 1年生は4月から、学習時間に貸出文庫の中から1冊読み聞かせをしています。そうすると、色々な本の中で一度読み聞かせをした絵本を選んで読む子が多く、しかもじっくりその絵本を楽しんでいる様子が見られます。
- なぞなぞや「本の中から何かを見つける」など問題形式の本が好きなようです。

## ＜多様な支援を必要とする子ども＞

- 子どもたちにとって居心地の良い環境だと思います。子どもが静かに勉強できる場としても良い場所だと思います。

## 滝川市教育委員名簿

(敬称略)

|            |         |
|------------|---------|
| 教 育 長      | 田 中 嘉 樹 |
| 委員 (職務代理者) | 春 田 淳 一 |
| 委 員        | 蜂 矢 忠 昭 |
|            | 木 曾 旬 映 |
|            | 種 田 貴志子 |

## 滝川市社会教育委員名簿

(敬称略)

|       |         |
|-------|---------|
| 委 員 長 | 山 木 傑   |
| 副委員長  | 村 田 淳 子 |
| 委 員   | 井 上 正 恵 |
|       | 柴 尾 智 子 |
|       | 柴 田 直 美 |
|       | 白 神 祐 貴 |
|       | 曾 根 英 司 |
|       | 田 中 一 徳 |
|       | 珍 田 恭 江 |
|       | 山 中 晴 吾 |

(令和6年3月現在)

この計画は下記の機関にアンケート調査を行い、現状把握・意見収集を行った上で策定されました。(敬称略)

|                        |                 |             |
|------------------------|-----------------|-------------|
| 白樺幼稚園                  | 滝川幼稚園           |             |
| 滝川中央保育所                | 一の坂保育所          | 花月保育所       |
| 江部乙保育所                 | 二の坂保育所          |             |
| 滝川市立滝川第一小学校            | 滝川市立滝川第二小学校     | 滝川市立滝川第三小学校 |
| 滝川市立西小学校               | 滝川市立江部乙小学校      | 滝川市立東小学校    |
| 滝川市立江陵中学校              | 滝川市立明苑中学校       | 滝川市立開西中学校   |
| 北海道滝川西高等学校             | 北海道滝川高等学校       | 北海道滝川工業高等学校 |
| 花月地区学童クラブ              | 中地区学童クラブ        | 西地区学童クラブ    |
| 北地区学童クラブ               | 東地区学童クラブ        | 江部乙地区学童クラブ  |
| 東滝川児童館                 |                 |             |
| 児童通学支援・放課後等デイサービス「いっぽ」 | 滝川通園事業所「たんぼぼの家」 |             |
| 滝川市地域子育て支援センター         | 滝川市こども発達支援センター  |             |
| 滝川市適応指導教室ふれあいルーム       |                 |             |
| 滝川市保健福祉部健康づくり課         | 滝川市保健福祉部子育て応援課  |             |



## 第3次滝川市子どもの読書活動推進計画

2024（令和6）年度～2028（令和10）年度

発行 令和6年3月

発行者 滝川市教育委員会

編集 滝川市立図書館

滝川市大町1丁目2番15号

電話 (0125) -22-4646

FAX (0125) -23-1284

E-mail [tosyo@city.takikawa.lg.jp](mailto:tosyo@city.takikawa.lg.jp)